

令和7年

9月市議会定例会決議案

議案会第21号 豊橋市の歴史に学び平和への決意を新たにする決議……………3

議案会第21号

本市議会は、豊橋市の歴史に学び平和への決意を新たにすることに関し、別紙のとおり決議する。

令和7年9月26日提出

提出者	豊橋市議会議員	小林 憲 生
	同	鈴木 智 子
	同	土 屋 祐 司
	同	井 上 豪 史
	同	水 野 恵
	同	山 口 倫 世
	同	諸 井 菜々子
	同	菅 谷 竜
	同	久 保 大 司
	同	山 田 隆 司
	同	本 多 洋 之
	同	伊 藤 哲 朗
	同	石 河 貫 治
	同	宍 戸 秀 樹
	同	梅 田 早 苗

同	及	部	克	博
同	古	池	も	も
同	山	本	賢	太郎
同	近	藤	修	司
同	川	原	元	則
同	中	西	光	江
同	鈴	木	み	さ子
同	斎	藤		啓
同	星	野	隆	輝
同	豊	田	八	千代
同	尾	崎	雅	輝
同	松	崎	正	尚
同	向	坂	秀	之
同	伊	藤	篤	哉
同	坂	柳	泰	光
同	古	関	充	宏
同	田	中	敏	一
同	寺	本	泰	之

豊橋市の歴史に学び平和への決意を新たにする決議

戦後八十年にあたり、全世界の戦没者及び紛争等による犠牲者に対し、心から追悼の意を表するとともに、今なお破壊の轟音に怯え、銃声の下を逃げ惑う人たちに安寧の日々が訪れることを真に切望する。

我が国において、先の大戦は日本人が経験した最大の国民体験であった。何百万という大軍を長期にわたってアジアや太平洋の各地に送り出し、内外に無数の苦痛と悲嘆を残した。加えて、度重なる空襲により国土は焦土と化し、凄惨な地上戦が繰り広げられた沖縄戦、樺太戦、ついには原爆による人類史上初の被爆国となった。

豊橋市は戦前、軍都であった。明治18年に歩兵第十八聯隊が設置された後も陸軍第十五師団や教導学校、予備士官学校、老津陸軍飛行場や大崎海軍飛行場が開設された。幾万の将兵がこの豊橋の地に集い、厳しい訓練を経て、そして戦地へと旅立っていった。

戦局が厳しくなるにつれ、町内会の人々は毎日のように応召していく若者の武運長久を祈り、その郷党の歓呼の声に送られた豊橋市出身の出征兵士のうち、再びふるさとの土を踏むことのできなかつた戦没者は5,500人を超える。また昭和20年6月20日未明には、B29戦略爆撃機136機による空襲により市街地を中心に全戸の70%が灰となった豊橋空襲では、およそ7万人が罹災し、624人の無辜の民の命が奪われた。

人口の9割を戦後生まれが占める現在、こうした豊橋の歴史も時の経過に埋もれて忘れ去られてしまうことが危惧される。

そうした中で迎えた戦後80年という節目に、我々豊橋市議会は豊橋市の歴史に学び、この地をふるさととして大切にしてきた先人たちの経験を教訓とし、ここ豊橋市から平和な日本、平和な国際社会を築く決意をここに表明する。

上記決議する。

令和7年9月26日

豊橋市議会